

平成29年6月定例教育委員会会議録

○日 時 平成29年6月1日(木) 午後3時～3時37分

○場 所 櫛引庁舎・教育委員室

○出席委員 教育長 加藤 忍

1番 田中 芳昭(教育長職務代理者)

2番 佐竹 美津子

3番 毛呂 光一

4番 佐藤 清美

○欠席委員 なし

出席議事説明職員氏名

教育部長	石 塚 健	管理課長	本 間 明
学区再編対策室長	佐 藤 嘉 男	学校教育課長	尾 形 圭一郎
学校教育課指導主幹	山 口 幸 一	社会教育課長	鈴 木 晃
社会教育課文化主幹	佐 藤 尚 子	中央公民館長	前 森 淳 子
藤沢周平記念館長	三 浦 眞 紀	スポーツ課長	秋 葉 敏 郎
図書館長	松 浦 幸 子	学校給食センター所長	太 田 功

出席事務局職員氏名 管理課庶務係長 石川聡

会議次第

1. 開会

2. 市民憲章唱和

3. 会議録署名委員の指名

4. 議事

日程第1 議第11号 市議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の申出について(非公開)

日程第2 議第12号 鶴岡市社会教育委員の委嘱について(非公開)

5. 報告事項

(1) タクト鶴岡 スポンサー募集について

(2) タクト鶴岡 利用説明会・貸館ルールについて

(3) その他

6. 閉会

開 会（午後 3 時）

教育長 　　ただ今から 6 月の定例教育委員会を開会する。最初に市民憲章唱和を行う。

（学校教育課長が先唱し、市民憲章唱和）

教育長 　　会議録署名委員は、2 番委員に願います。

本日の議事について、議第 1 1 号は議会に上程される前の議題のため、議第 1 2 号は人事案件のため、非公開とすることにご異議ないか。

教育委員 　　異議なし。

教育長 　　異議なしと認め、議第 1 1 号、議第 1 2 号は非公開とさせていただきます。

（会議録は別記録とする）

教育長 　　予定された議事は以上である。次に、報告事項に入る。タクト鶴岡スポンサー募集について及び利用説明会・貸館ルールについて、事務局より説明をお願いします。

社会教育課文化主幹 　　タクト鶴岡スポンサー募集についてと利用説明会・貸館ルールについてご説明申し上げます。

はじめにスポンサー募集についてであるが、他団体の例にならない、開館記念事業や備品購入さらにはその後の管理運営等についてスポンサーを募るもので、6 月 1 日から受け付けることを市広報等に掲載している。募集の内容は、3 にあるように会館記念事業、備品等の物品購入、管理運営、開催事業にかかる経費に対するもので、ネーミングライツについては別途検討している。また、応募に伴う特典として、4 に他団体の例を載せているが、チラシ等への広告やロゴの掲載、施設内や備品等への名入れ、招待券の提供やチケットの割引販売等を想定している。5 の実施方法として、企業、団体は個別に対応するが、個人は原則金銭による寄附に限定し、ふるさと納税を活用することとしている。なお、制度上の枠組みとして、開館記念事業及び備品等の物品購入にかかる分は、主に初年度での取り組みとなるので個別対応とするが、管理運営及び毎年の開催事業にかかる分については、今年度の応募状況をみながら寄付金額に応じた特典の配分等をメニュー化するなどして、広く PR できるような態勢を整えて参りたいと考えている。

続いて、利用説明会・貸館ルールについてであるが、来年度からの貸館開始にむけ、利用を希望する団体等への説明会を 6 月 2 4 日及び 2 5 日にそれぞれ午後 3 時及び午後 6 時からの計 4 回、市役所の大会議室で行うこととし、市広報の 6 月 1 日号やホームページで周知を図るものである。説明内容として、2 の受付の優先順位については、主催事業を最

優先としながら、続いて全国大会等の大規模な催事を優先した上で、市内の個人、団体が芸術文化活動で利用する場合に、ホールであれば13か月前から受け付けし、利用調整会議を経て決定することとしている。ただ、来年度については、初年度であるので3の表の日程で行う。また、申込み方法は、最初に利用団体、個人として登録いただいた上で、改めて利用申し込みを提出いただくものであり、5のその他として、使用料は前納を原則とし、附属設備や備品、冷暖房の使用料は規則で規定することとするものである。

- 教育長 今の2つの件について、質問はないか。
習熟期間の応募状況はどうなっているのか。
- 社会教育課文化主幹 試験利用の募集は明日が期限となっているが、現在11件程の申込みがある。第3希望まで出していただいております、今のところは、うまく収まりそうだと聞いている。14日に調整も含めた利用説明会を予定している。
- 4番委員 利用調整会議は、社会教育課の方々が行うのか。
- 社会教育課文化主幹 29年度は、直営の期間であるので、社会教育課の文化会館の担当が行う。
- 4番委員 それを選考する会議の人数は、どのくらいか。
- 社会教育課文化主幹 担当職員としては7人であるが、団体に集まっていたいただき、団体間で調整をしていただく。
- 教育長 第一希望、第二希望がバッティングしているところで、互いに話し合っていたいただくことになる。
- 社会教育課文化主幹 話し合いがつかなければ、抽選になる。
- 教育長 30年度は、指定管理になっている団体に調整をお任せする。
- 教育長 その他、質問、意見等はないか。他に報告事項はないか。
- 図書館長 資料を配らせていただいた2つの事業と、図書館で起きた学校誌、学校記念誌などの資料被害の状況報告をさせていただく。
はじめに郷土資料館開館40周年記念展ということで、図書館2階の郷土資料館にある展示コーナーで5月13日から展示公開を行っている。もう一つは、山形小説家ライター講座の鶴岡出張講座ということで、昨年第1回を行わせていただいたが、今年度第2回ということで、講師に直木賞作家の角田光代さんをお招きし行う予定である。こちらの周知が早く始まっているのは、ライター講座では、講座で取り上げる作品を募集し、その作品の中から数点を選んで講師の先生から講評をいただくという形をとる講座であるので、現在から周知し、当日の9月9日に向

けて準備を進めるということで、募集を開始したところである。

それから、新聞報道等になっている鶴岡市立図書館の資料被害についてであるが、今年4月末から全国各地の公共図書館で学校誌や学校記念誌等の写真が切り取られる被害が発覚して、全国紙に報道になっている。山形県の対応としては、県立図書館から5月12日に県内各図書館宛での調査依頼があり、鶴岡市立図書館は13日から調査を開始した。当初は発見に至らなかったため、その段階では「現在のところ被害なし」ということで報告させていただいたが、県内の尾花沢図書館でも被害があったため、再度1ページずつ確認作業をしたところ、最終的には13冊の学校誌、学校記念誌の切り取り被害が発見された。その時点で、すでに取材のあったところには公表させていただき、16日のNHKニュースから始まり17日には各新聞に報道になったところである。その時点では、学校関係・教育関係の郷土資料を点検調査したが、その後、2階の郷土資料館の開架に出している、つまり一般の人が自由に手に取れる資料を1週間ほどかけて全点各ページ点検したところ、広報あまるめの縮刷版、縮刷版とは数年分の公報をまとめて本の形にして出版したものであるが、広報あまるめと村報あさひから各1ページずつ切り取られたという被害が発見され、全15冊ということで5月30日に鶴岡警察署に被害届を提出した。今後の対応としては、1階2階に閲覧者への注意喚起のための掲示「図書館の資料は公のものであり大切なものである」という内容のものと、2階には「郷土資料は1度なくなってしまうと、2度と戻せない郷土の歴史が失われる」という内容の掲示を行った。学校関係の資料については、棚の配置の関係でカウンターから直接見える場所になかったため、それを移動してカウンターの職員から見える場所に配架を変更した。館内巡回を強化したこともあるが、1階の資料については、以前から行っていたことではあるが、本を返却した時に中に個人的なものが挟まっていないかという点検とともに、本の毀損がないかという点検を強化して行っている。被害があった図書については、副本があるものもあったが、学校等に再度寄贈いただくものがあるか学校教育課を通して調査いただき、5冊については、本日再度学校から寄贈いただいたので、被害の無いものをまた一般に公開できるということで大変ありがたいと思っている。被害届を出した時点で、被害のあった本は、一度鶴岡警察署に全部提出しており、調査をしていただき、その後返却いただく経過になっている。報道等で大きく取り上げられ、大変ご心配をかけたところであるが、今の状況は以上である。

教育長

大半は副本、スぺアの本があり、なおかつ学校からほとんどいただけ

ることになったが、閉校後の年数がかなり経過しているところがあり、2～3冊はいただけない本もある。この件について、質問はないか。他に報告事項はないか。

スポーツ課長 昨日のチャレンジデーでは、皆様にご協力いただきありがとうございました。鶴岡市の参加者数は49,107名、参加率が37.8%であったが、岐阜県関市の参加者数は37,933名、参加率が42.1%で鶴岡市の負けとなり、皆さんからご協力いただいたものの結果が出せなかった。しかしながら、今回も運動やスポーツに親しむ一つのきっかけづくりになったのではないかと考えており、参加率も去年より少し上がっているので、今後敗因分析をして、来年どう取り組むか計画を練っていきたいと考えている。

つづいて、5月26日モルドバ大使を迎えて、櫛引南小学校と櫛引中学校で特別事業を開催し、夜はモルドバワインを楽しむ会ということで、定員が70名のところ130名の方からお集まりいただいた。大変盛況に行うことができたので、併せて御礼申し上げる。

教育長 チャレンジデーの1回目から4回目までの参加率は、どうだったのか。

スポーツ課長 第1回目が20.7%、次が47.0%、その次が57.0%、前回は21.7%で、今回は37.8%である。昨年は銅メダルであったが、今回は銀メダルをいただいており、負けてはいるが参加率は良くなった。

教育長 第2回目、3回目の参加率は50%近いが、今回は38%ということで、何が原因と考えているか。

スポーツ課長 参加率が50%近くだった時は、買い物ウォーキングを行い、買い物中は15分以上カートを押して歩くだろうということで市内のスーパーにご協力をいただき、買い物した人をカウントに入れていた。しかし、それが本当に運動なのかという意見もあったことから、昨年と今年は取り入れていなかった。一方で主婦の店さんから、のぼりを作ってチャレンジデーとして取り組みたいとの要望があり、一部の店舗で取り組んでいただいた。そこだけで今回1万近くの参加があり、もう少しこの制度を見直しして、単に買い物した人をカウントするのではなく、チャレンジデーへの参加意識を持って取り組むような行い方をすれば、そういう形で持っていけるのかなと考えている。

3番委員 結果を見ると、5万人都市で参加者が6万人など、参加率が120%以上の自治体もあるがなぜか。

スポーツ課長 住所に関係なく、その日その町でチャレンジデーに参加した人をカウントするという形になっているためと考えられる。

教育長 ダブルカウントもあるのではないか。

スポーツ課長 それはあると思う。例えば、鶴岡市民でも三川町で実施した場合は、鶴岡市のカウントには入らないことになる。少しやり方を考え、学校からも取りこぼしがないようにして、次回につなげたい。

教育長 その他、質問、意見等はないか。他に報告事項はないか。

藤沢周平記念館長 報告ではないが、現在開催している藤沢周平記念館の没後20年特別企画展示関連事業として、7月23日日曜日に講演会を予定している。広報や職場のチラシなどご覧になった方もいらっしゃるかもしれないが、今回の講師は、プロ野球解説者の江夏豊さんをお迎えしている。当日は文芸春秋の元常務の方で、現在運営委員として携わっていただいている鈴木文彦さんから聞き手として、テーブルを挟んでお二人で対談する形で、「藤沢周平さんに会いたかった」というタイトルで、ご講演をいただく。正式には6月1日号の広報から募集をかけてと思っていたが、5月28、29日あたりから各家庭に広報が配布されていることもあり、反応はかなり良く、本日の段階でハガキでの申込みを既に50名ほどいただいている状況である。定員は300名であるが、ぜひ皆様お声かけ、ご来場いただければと思う。

教育長 この件について、質問はないか。

3番委員 江夏さんは、文学がお好きなのか。

藤沢周平記念館長 プロ野球選手として、日本を代表するスポーツ選手でいらっしゃる、一方で大変な読書家だと伺っている。以前から候補に挙がっていた方で「蝉しぐれ」のことについて書かれた本もあり、この度講師をお引き受けいただいた。ぜひ野球が好きの方も、この機会に藤沢周平記念館の講演会にお運びいただきたい。

社会教育課長 鈴木さんは「Number」の初代編集長であり、その関係で江夏さんにご親交ある。せっかく江夏さんなので、野球の話もあると伺っている。

藤沢周平記念館長 二部構成でさせていただく予定である。

教育長 その他、質問、意見等はないか。他に報告事項はないか。

学校給食センター所長 2件程ご報告申し上げます。1つは、今年度の施設整備に関して、一番大型の食缶洗浄機が5月25日に入札であった。調査基準価格、予定価格に対して、一定の額を示しそれを下回ったものは、低入札ということで、調査の上決定ということで4社が入札にのぞみ、そのうち3社が低入札にひっかかった。昨日までに調査委員会を終えて、今日の午後、最低価格を出した業者に、決定した旨を契約管財課の方から業者に連絡をしてもらい、週明けに正式な契約になる。予定どおり夏休みの期間で食

缶洗浄機の更新を終えて、夏休み以降の給食に安定した効率の良い形に進むことになった。

もう一件、ここ2年間で調理業務中に滑って転んだとか、拭き掃除をして上部の機械にぶつけたなど、1か月以上休んだ労災事故もあったが、先日藤島の給食センターで、調理業務を委託している社員の方が、野菜を切るスライサーで指の先端を欠損する事故があった。それについても、労災ということで、労働基準監督署とともに立ち入りし、市も合わせてそれぞれの改善事項などを伺い、機械のより安全性を確保するにはどうすれば良いか、こちらの方としても今後対応していくことになる。負傷された方の縫合もうまく進んで、リハビリに入っている。大事には至らず、当日の給食にも影響は出ないで済んだ。

教育長

その他、報告事項はないか。ないようなので、これをもって6月の定例教育委員会を終了とする。

閉 会 (午後3時37分)